

登山、キャンプ、山林付近で農作業などをされる方へ

◆たき火による**火災**に注意しましょう◆



「林野庁ホームページから」

岩手県をはじめ全国で大きな山火事が発生しています。山火事の発生には季節的な特徴があり、約7割が冬から春（1月～5月）にかけて集中して発生しています。これは、冬は森林内に落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていることや、風が強く乾燥した状態になるといった自然条件が重なること、また、春先は、行楽や山菜採りのために山に入る人が増加するほか、農作業に由来する枯草焼きなどが山林に飛び火することも原因となっています。

火の粉が飛散し同時多発的に着火延焼すること、延焼スピードが速いこと、消火隊の立入りや利用可能な水利が限られることから、消火活動が困難なことなどが挙げられます。

人命や家屋等を危険にさらすほか、貴重な森林資源を大量に焼失し、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。山火事は延焼しやすく消火しにくい火災であり、大規模な火災に発展して地域社会に甚大な影響を与えることから、山火事を発生させないことが最も大切です。

山火事の主な発生原因は、たき火の不始末やタバコの投げ捨てなど人為的なものとなっています。

山火事の多くが、ちょっとした火の取扱の不注意により発生していることから、次のことを守ってください。

- 強風時及び乾燥時にはたき火、野焼きをしないこと
- 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- たき火など火を扱う前には水を準備し、火を扱っている時はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- たき火や野焼きをするときは周囲にも知らせ、一人で行わないこと
- タバコの吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てをしないこと
- 火遊びをしないこと。また、させないこと。

林野火災の大部分は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため、林野での火気の取扱いは十分気をつけましょう。

このチラシに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

出雲市消防本部 予防課 電話 0853-21-6921